

# 檮だより

2019. 5. 23



## 頑張った！楽しんだ！盛り上がった！

5月18日（土）の体育祭は、朝早くから沢山の保護者が詰めかけて下さって、競技中も応援に、写真撮影に、生徒と一緒に体育祭を楽しんで下さっていました。いつも、いつも、学校行事に御協力をいただき本当にありがとうございます。



押忍！大玉。赤白で大玉を取り合いますが、みんな楽しそうです。

あいにく今年は途中で小雨が降る、寒いくらいの天気となりましたが、おかげで熱中症の心配をしなくて済みました。午後になって、少し雨の勢いが増したにもかかわらず、皆様最後までご観覧いただき、心から感謝しております。

私は開会式で、「頑張れ！楽しめ！盛り上がれ！」と叫びましたが、その通りの体育祭でした。楽しそうな笑顔があちこちではじけていました。私は、その理由は、体育祭が当日だけではないから、そして、体育祭はプログラムに載っている演技種目だけで出来ているのではないからだと思っています。

### 体育祭は当日だけではない？！

中高一貫高の本校では、体育祭の練習は前年度から始めます。例えば、中1（4月に中2になる学年）は、1月末のマラソン大会が終わると、集団行動のための歩行練習に入ります。その他の学年も、5年生（4月に6年生になる学年）以外は、それぞれの種目の練習が始まります。つまり、体育祭はこうした練習を積み重ね、その集大成として当日を迎えるわけです。だから、私は体育祭を、それまでの生徒達の練習と、先生方の指導の様子を重ねながら見るようにしています。そうすることで、一層感動が大きくなるのです。

新1年生は4月からしか練習できません。彼らは大縄跳びをするのですが、最初の練習があるのは、入学直後の沼田校舎でのオリゼミ（今年は4月11日～12日でした）です。私は今年も見に行きました。最初は1回も飛べない。よく飛べて3～4回。上手なグループが、しばらく練習して、やっと10回飛べるか飛べないかという状態でした。それが、体育祭では、ほとんどのグループが10回以上飛び、最高は1年3組後半グループの41回でした。どのクラスも、みんなで協力して一生懸命練習したのでしょう。



大縄跳び。回し手との息もぴったり合っています。

予行は学年毎に行います。たまたま低学年の行進練習を見に行ったら、体育科や学年の先生方が手拍子をしながらか「左、右！左、右！」と声を掛けていました。中学生なら行進なんて練習しなくても出来るだろうと思うのは昭和の発想です。実際、「左」と言われても右を出す、中には右手と右足が同時に出るという生徒もちらほら見受けられました。こんな風に、最初の状態を知っていると、生徒達がどれくらい練習したか、先生方がどれくらい「苦労」



10人11脚。でも、なぜか12人13脚。みんなで出るほうが大事なんです。

されたかと考えずにはられません。当日、朝礼台の上で行進を見ながら、私は一人で感動していました。

6年生の10人11脚、素晴らしかった。ものすごい速さでゴールになだれ込んでいました。それもそのはずです。朝、昼、放課後、短い時間を上手く使って、何度も練習していました。さすがは6年生だと、これも感動！

背中メッセージも面白いし、何より、保護者からは我が子がすぐにわかっていいと好評でした。

### 体育祭はプログラムに載っている演技種目だけで出来ているのではない？！

私は体育祭の間、ほとんど本部席にいます。そこには、マイクやスタート用ピストルの火薬が置いてあって、審判の生徒が入れ替わり立ち替わりやってきます。来なかったり、遅れたりということは全くありません。当たり前と言えば当たり前かもしれませんが、監督の先生があれこれ指示をしなくても、生徒は自分の担当の時間をきちんと把握していて、ちゃんとやってくるのです。特に練習などしているわけではありません。その場で説明を聞いて、ちゃんと仕事を済ませて帰っていくのです。全て生徒が自分で動きます。説明を聞いたり、状況を把握したりすれば、自分で考えて行動できるということです。そして、これが広島なぎさの教育の真髄だと私は思っています。数字や実績として目に見えないかもしれないけれど、これはとても大切なことなのです。生徒会、応援団、招集・誘導・審判・記録・用具の各係、管弦楽部、放送部エトセトラ。先生方とともに、大勢の生徒達が裏方として動いている。それは、もう一つの大事な演技種目です。

ところで、体育祭も終盤となったころ、本部席でフォークダンスが始まるのを待っていたら、一人の男子生徒が私の前に立って、なんと、フォークダンスに誘ってくれました。フォークダンスでは4曲踊ることになっていると聞いていました。ほとんどがオリジナルのダンスです。私が、「え、私、知らないんだけど」と言うと、彼は何と言ったと思いますか？「大丈夫です。僕がエスコートしますから。」と言ったのです。その一言で、私はすぐに腰を上げました。あんな一言がすぐに言えるなんて、大人です。さすが6年生です。お陰で私はオクラホマミキサーを30年ぶりに踊りました。誘ってくれた松村君、ありがとう。パートナーになって踊りを教えてくれた人達、ありがとう。そして、みんなに「ありがとう!!」



体育祭の花形はやはり昔も今もリレー。真剣に争っているのに、みな楽しそうな笑顔です。